



国民春闘共闘

第24号

2020年7月8日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

20国民春闘賃上げ 最終（第8回）集計

単純平均 4,982 円、加重 6,085 円・2.12%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7月3日、第8回（最終）の賃金改定集計を行い、別表の31単産・部会からの回答状況を集計しました。

<回答状況>

	2020年（全数）	2020年（登録）	2019年（登録）
回答引き出し組合数	1,151	405	547
うち金額・率の回答	806	279	384
うち「定昇確保」など言葉による回答	345	126	163
うち上積み獲得	145（12.6%）	69（17.8%）	100（18.3%）
うち妥結組合数	565（49.1%）	143（37.0%）	250（45.7%）

※今年度の集計から、登録組合方式をあらため全組合調査として行っている。

<回答内容>

集計方法&対象		2020年 （全組合数）	2020年 （登録）	2019年 （登録）	同期比 （登録）
単純平均	額（円）	4,982	5,212	5,367	-155
	率（%）	1.97	1.93	2.00	-0.07
加重平均	額（円）	6,085	6,235	5,918	+317
	率（%）	2.12	2.12	2.05	+0.07
	組合員数	86,058	71,496	87,084	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	406	222（54.7%）	5,121	5,193	-72
	率	239	142（59.4%）	1.91	1.68	+0.25

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額（円）	26.8	2,837	21.4	4,412
	率	2.99	1.28	1.81	0.84

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

7月3日の第8回集計には、別表の31単産・部会から報告が寄せられました。1,151組合が何らかの回答を引き出し、そのうち「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が806組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は345組合となっています。また、回答引出し組合の12.6%にあたる145組合が2次回答以上と上積み回答を引き出しています。なお、565組合が妥結となっています。(回答引き出し組合に占める妥結率は49.1%)

昨年までの登録組合ベースで、比較すると回答引き出し組合は405組合で、昨年同時期を大きく下回る状況です。また、上積み獲得組合も、去年同期100組合から69組合に減少しています。なお、妥結組合は、143組合(35.3%)となっています。

回答内容

有額回答を引き出した806組合での単純平均(一組合あたりの平均)は4,982円・1.97%で、加重平均(組合員一人あたりの平均)は6,085円・2.12%となっています。

昨年度までの登録組合ベースでは、単純平均は5,212円・1.93%で前年同期(5,367円・2.00%)から155円減・0.07%減となっています。一方で、加重平均では6,235円・2.12%で前年同期(5,918円・2.05%)から317円増・0.07%増となっています。(金額のみ・率のみの報告を含んでいるため、金額と賃上げ率の増減は連動しません)

また、同一組合での対比が可能な406組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,121円で、前年実績(5,193円)を72円下回っています。賃上げ率では239組合の単純平均で、今期は1.91%と前年実績(1.68%)を0.25%上回っています。前年実績以上の回答を引き出した組合は、金額では222組合(54.7%)、率では142組合(59.4%)となっています。

職場の声を何らかの形で集め、オンライン会議なども活用しながら交渉を進めた組合では、昨年を上回る回答引き出す成果を獲得しています。また、全体を通じて、新型コロナ禍による経済情勢の悪化のもとでも、昨年なみの賃上げ回答を獲得し、労働者の生活水準の維持・向上に奮闘した春闘となりました。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、別表の10単産194組合から405件(前年同時期は243組合・435件)の成果獲得の報告が寄せられています。

時給制労働者では278件の獲得報告が寄せられています。そのうち引き上げ額がわかっている161件の単純平均は26.8円となっています。率では65件平均で2.99%となっています。比較可能組合では、15.5円(67組合単純平均)で前年実績を0.3円下回りほぼ同様の引上げとなっています。率では1.533%(20組合単純平均)で前年実績を0.205%上回っています。

日給制では、建交労で2件の獲得報告で、引き上げ額は140円となっています。

月給制では、7単産から70件の獲得報告が寄せられています。引き上げ額では、34件の単純平均で2,837円、率では1.28%となっています。

再雇用者の賃上げ状況については、時給制24件、月給制26件の獲得報告となっています。引き上

げ額・率では時給制で 21.4 円・1.81%、月給制で 4,412 円・0.84%となっています。

企業内最低賃金改定状況

企業内最賃協定の獲得状況では、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、全労連・全国一般、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連、日本医労連の 10 単産 84 組合から 133 件（前年同期 78 組合 140 件）の獲得報告でとなっています。このうち、時間額は 92 件の獲得で、新協定額は 937 円（91 件単純平均）で、引き上げ額・率は 34.6 円・3.67%となっています。日額は 12 件の獲得で、新協定額は 7,479 円（12 件単純平均）、引き上げ額・率は 668 円・9.86%（4 件単純平均）となっています。月額は、20 件の獲得で、新協定額は 164,898 円（20 単純平均）、引き上げ額・率は 12,352 円・8.33%（8 件単純平均）となっています。いずれも、春闘の引き上げ額を大きく上回り、賃金の底上げが進んでいます。